



紙芝居の魅力をキューバで満喫!

2018年3月1日

去る2月7日、国際交流基金の特別支援で、アーティスト横尾咲子氏が第27回ハバナ国際図書展の日本パビリオンの文化活動の一つとして、紙芝居の公演とワークショップを行いました。



横尾氏は、日本の昔話をはじめ、第2次世界大戦、原爆投下、そしてその悲劇を二度と繰り返さないと誓った日本国民の教訓について語る「二度と」などを披露しました。

同日午後には、紙芝居のワークショップが開催され、多くの方々が、紙芝居のコツや技術を学ぶ機会を得ることができました。幅広い年齢の参加者が、日本では伝統的な大衆文化である紙芝居を、一つの新しい物語の語り方として満喫しました。